

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/



法座のご案内

六月五日(金)・六日(土)
両日午後一時半より
永代祠堂経法要



今号の法語

尊き今

教わる

亡き方から



今号の内容
・広濟寺探検隊！〜瓦の紋〜
・仏事のQ&A〜護持会って何？〜
・千夏のきときと日記
・住職コラム
・学んで歌って楽しんで♪〜仏婦の集い〜



先日サッカーW杯の日本代表ワールドカップが発表されました。限られたメンバーですから、落選した選手も数多くいます。「たくさんの手が日本代表を支えてきてくれた」という監督の感謝の言葉が印象に残りました。

W杯6大会連続出場というところで、今はW杯出場を当たり前にする感じてしまう私たち。けれども昨年お亡くなりになった釜本邦茂さん(元サッカー選手)の時代には、きつと夢のまた夢の舞台だったことでしょう。

その後も多くの方々が挑戦し、切り開き、涙を流しながら繋いできてくれたのが今の日本代表なのだと思えます。

私たちが生きる現在。様々な課題はもちろんあるのですが、当たり前のように見える日々の裏には、きつと多くの方々の絶え間ない歩みがあるのでしようね。そこに目を向けるとき、当たり前前の今が尊い今となり、何気ない私の命も、尊い「命」であったと気づかせられるのでしよう。

広濟寺探検隊！

く瓦についている紋く

皆さんはお寺にお参りされる時、どんな所に目を向けておられますか？もちろん仏さまが中心なのですが、普段なかなか目につかない所が、お寺の瓦。それもそこに刻んである紋です。



右が左三つ巴紋
下が広濟寺の寺紋



皆さんは瓦の紋を見ることができるとき、一つは広濟寺の寺紋（下が藤に卍）、もう一つは左三つ巴紋です。

この左三つ巴紋というのは、見た目から分かるように、渦を巻いているデザインです。すなわち水が渦巻く火除けの象徴として、古くから寺社で用いられてきたとのこと。

先日ご門徒さんのお仏壇の瓦を見ていると、やはり三つ巴が施されているものがありました。

普段何気なく見ているところにも、先人たちのいろんな願いや意味が込められているのですね。皆さんも気づいたところや気になるところ、教えてくださいね！

仏事の疑問 Q & A

質問 護持会って何ですか？

いつも皆さんに広濟寺を支えていただいておりますが、ありがとうございます。さて、今回は広濟寺護持会についてです。

歴史としては、昭和五十三年に設立され、広濟寺の護持・振興を目的に活動している会です。戦後の時代変化の中で、お寺の護持のあり方も組織化していくという流れにあり結成されたと聞いております。

各地区の世話役員等で構成される役員会では、お寺の行事や会計などが話し合わせ、お寺を運営して下さっています。

ご門徒の皆さんにおかれましては、広濟寺の護持会費および門徒講金（本山への懇志）

当初は各地区の世話役員の方々が会費を集めてくださっておられたのですが、時代変化と共に、まわり報恩講の際にお寺が直接お預かりさせていただいたり、遠方の方々へは封書にてお願いさせていただいております。

多くの方々の温かいお気持ちによって、今もお寺は護持されてきております。改めて深く感謝申し上げます。今後ともどうか宜しくお願い致します。

千夏のきときと日記

今ニュースで話題になっている「ナフサ不足」。中東情勢の影響でインク原料であるナフサ調達が不安定になり、身近な食品にも目に見える形で変化ができています。

カルビーではポテトチップスなどの主力商品で、パッケージをカラーからモノクロ（白黒）に変える方針だということです。私が大きなニュースとなりました。私も大好きなポテトチップスのニュースだったので、SN



Sで色々調べてみると色々な声がありました。

「とりあえず中身が変わらないならOK」、「モノクロというのも逆に目立ちそう」などといった声が多数上がり、トレンド入りしたようです。

一部では「ポテトチップスのお葬式」といった揶揄する声もありましたが、事態を冷静に受け止め、安定供給のための柔軟で臨機応変な対応を評価するポジティブな意見が多いことを有り難く思いました。

すべてのものは、様々な縁（条件）によって影響を受け、絶えず変化し続けています。

私たちの身体も心も、そして周りの環境も。思い通りにならない中で、私たちは様々に振り回されています。ですが、そんな振り回されてしまう世界だからこそ、仏さまの教えが大切にされてきたのでしようね。

ずっと変わらない仏さまの教えをこれからも聞いていきたいと思えます。

住職コラム

線路際に立ち並ぶように密集している「マンサク」「サンシユユ」「ビワ」「ザクロ」等々。そもそも高木にならないはずが、伐採を怠ると、5メートル近

くにもなっている。成長が本当に早い。

今、鉢植えでは「イキシア」という花が満開になっている。30〜50センチほどの鉄線のような細い枝先に赤や白の花をつけ、風に吹かれて弓なりにゆらゆらしている。可愛らしいといえば可愛らしいが、「夜に花を閉じ朝日が昇ると開く」という性質があるとのこと、花言葉に「秘めた恋」とも言われる。

このように生けるものの中に囲まれている私共であるけれども、こんな私にいつもあたたかく寄り添ってくださいありがとうございます。このことに気づかせてくださるお念仏。

ありがとうございます。
なまんだぶ。

合掌



学んで歌って楽しんで♪

〜仏教婦人の集い〜

四月二十五日(土)午後一時半より、「広濟寺仏教婦人(仏婦)の集い」が開催されました。お天気にも恵まれ、今年も賑やかな時間を過ごすことができました。

最初に正信偈を皆でお勤めしてから、ご法話をお聴聞。射水市の円徳寺より池内瑞



雄さんをお迎えし、先ほどの正信偈について分かりやすくお聞かせいただきました。お経は漢字ばかりで難しいですが、やっぱりお話で聞くと受けとめやすいですね。

教えを学んだ後は、今回は皆でいろんな歌を楽しみました。NHK『ばけけ』の主題歌から浄土真宗の歌まで、大きな声を出すと気持ちも爽やかにになりました。

歌って小腹を空かせてからは、ケーキを食べながらのティータイム。あつという間の楽しい時間でした♪

「仏婦の集い」は毎年一回開催しています。ぜひ皆さんも気軽に参加してみてくださいね!

お知らせ

令和八年

永代祠堂経法要

六月五日(金)・六日(土)

両日午後一時半より

御講師

五位組 教願寺

岡西 好持 師(五日)

岡西 有可 師(六日)

広濟寺護持委員会

六月六日(土)

午後三時半より

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後一時半より



編集後記

先日、久しぶりに高岡駅南口にある駅そば「今庄」さんに行ってきました。旧高岡駅の頃は、電車待ちでよく食べた思い出があります。

注文したのは、「ちゃんぽん」。「ちゃんぽん」といっても、いわゆる「長崎ちゃんぽん」ではありません。うどんとそばが一緒に入っているのがこの店流。当時は「ちゃんぽん」とはこのことだと本気で思っていたものです。

ネット上では「関西(うどん)・関東(そば)の文化が合流する富山の文化をよく表した食べ物」と評価されていました。文化の交流が新たなものを生み出し、元からあるものの価値も再認識させてくれます。これからも豊かな文化が広がって欲しいですね。